

2-3. 高大連携事業

学園連携推進室は2007年4月に「学園は一つ」の方針の下に、各設置校の連携協力を円滑に進めるためにできた部署です。特に、京都文教高校から京都文教大学・京都文教短期大学への進学をスムーズに進めるために制度化され、2008年10月にスタートしたALP（アドバンスト・レクチャープログラム）の運営と、関連行事の企画運営を主たる業務としています。

ALP制度は、大学・短大が実施する特別講義を受講し、その成績が評価されると、京都文教大学・短大への特別推薦者として学校長から推薦されるものです。講義は大学・短大の現職教員が高校に出向して行います。高校2年生の10月から1月までと、高校3年生の4月から7月までを講義期間としています。

2012年度は京都文教高校から京都文教大学に22名京都文教短期大学に34名が進学し、そのうちALPを通して進学した生徒は大学20名、短大32名でした。

以下は2012年度に行われたALP制度に関連する高大連携事業です。

【本年度に実施したALP関連プログラム】

＜高校1年生対象プログラム＞

1. 「高校1年生対象進路講演会」の実施（2013年2月）

京都文教高校主催で高校1年生を対象に「大学での学び」について進路講演会が実施された。総合社会学部教授に「大学に行く価値？」をテーマとして、大学での学びと将来の職業の関係や専門を学ぶ意味など大学教員の立場から講演してもらった。

＜高校2年生対象プログラム＞

1. オープンキャンパス体験プログラムの実施（2012年8月）

内部進学クラスと体育クラスのALP受講者対象が、大学・短大のオープンキャンパスに参加し、大学に進学するか短大に進学するかを決めるための機会とした。

2. 高校2年生ALP開講式の実施（2012年10月）

ALPの開講日に、生徒への激励と受講上の諸注意を伝えるために開催した。

3. 高校2年生ALP終了式の実施（2013年2月）

成績表を渡し、大・短教職員から今後に向けてのアドバイスする機会とした。

＜高校3年生対象プログラム＞

1. 「高校3年生ALP終了式」開催（2012年7月）

成績表を渡し、大学進学を控えた今後の高校生活の過ごし方などのアドバイスを行った。

2. 修了認定書を授与（2012年7月）

高2・高3のALPの成績を評価し、合格者に修了認定書を授与した。それに基づいて、生徒は高校から京都文教大学・短期大学の希望する学科に特別推薦される。